【米田主宰の俳句】

ポトフの湯気

米田規子

ヨーグルトに蜂蜜冬日ほしいまま

花アロエするりと猫の細いしっぽ

朽ちやすき木の家なれど冬日燦

仏蘭西を語るポトフの湯気立てて

自愛か怠惰かそろそろ雪おんな

実万両ゆるりゆるりと癒えはじむ

海の向こう聖樹に集う三世代

生きるとはさわがしきこと大根煮る

ひとりふたり十人去りて山に雪

師走の灯訣別のごと髪切って